

総括事項

所属所数

市	12
町	15
村	12
一部事務組合等	34
合計	73

組合員数

組合員数	15,328人
被扶養者	21,876人
扶養率	1.43人

(任意継続組合員含む)

平均給料月額

		平均給料月額(円)
一般組合員 (うち特別職)	長期	335,582 (502,708)
	短期	336,134 (526,539)
市町村長組合員	長期	597,897
	短期	747,318
特定消防組合員	長期	320,558
	短期	320,558
継続長期組合員	長期	0
任意継続組合員	短期	298,241

()書きは特別職を示す。



平成19年度

決算のあらまし

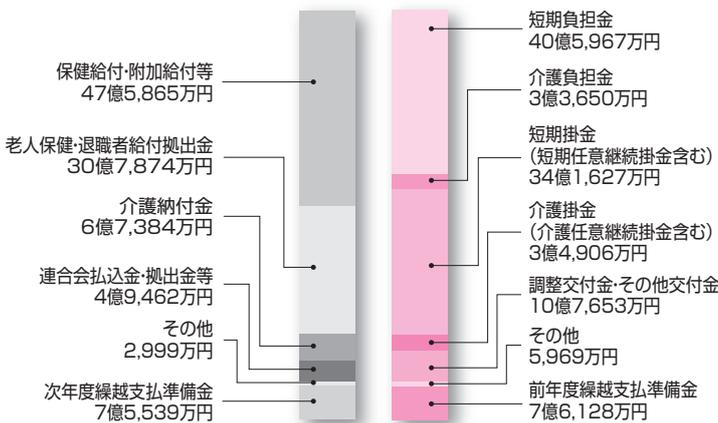
去る6月30日、第134回組合会が開催され平成19年度決算が議決されましたので、その概要をお知らせします。

短期経理

保険医療機関への医療費や組合員への各種給付金などをまかなう経理です

支出合計 97億9,123万円

収入合計 100億5,900万円



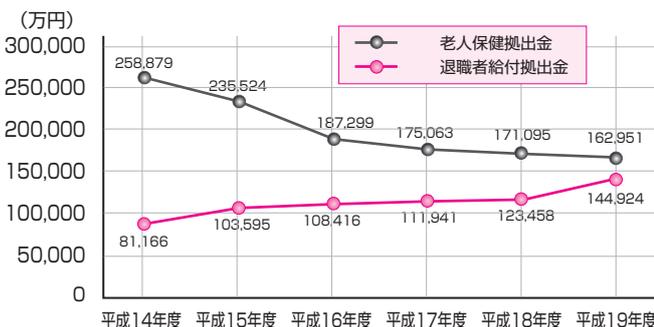
本年度は収益において、財源率の引き上げによる負担金、また掛金部分にかかる特別調整交付金の増加などにより前年度と比べ約5億5347万円の増となりました。一方、費用につきましては、本人、家族の医療総額は前年度より若干減少しましたが、退職者給付拠出金や連合会拠出金の増加などにより約5761万円の増加となりました。

収支の結果、短期部分につきましては約2億5663万円の当期利益金が生じました。この額を前年度より繰り越した短期繰越欠損金約1億1243万円に充当いたしました。なお、なお約1億4420万円の利益金が生じることとなりましたので、この額を欠損金補てん積立金に積み立てることにいたしました。

また、介護部分につきましては、約1113万円の当期利益金が生じたので、全額を介護積立金に積み立てることにいたしました。

なお、翌年度に繰り越すこととした欠損金補てん積立金については、本組合が財政調整事業の適用組合であるため規則に基づき端数処理後の全額を平成20年度において全国連合会に返還することとなります。

拠出金の推移



平成19年度医療給付実績

	件数(件)		日数(日)		金額(万円)	
		前年度比		前年度比		前年度比
組合員本人	133,485	536	222,497	▲15,644	181,899	157
家族	164,592	2,143	280,840	▲11,901	237,401	▲3,125
合計	298,077	2,679	503,337	▲27,545	419,300	▲2,968

長期経理

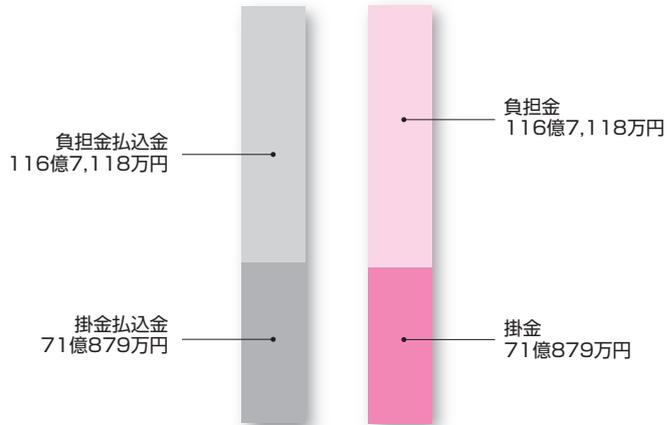
退職後の年金を給付する経理です

平成19年度から共済組合の年金給付は全国連合会が二元的処理により行うこととされました。よって、当組合では、組合員の方々から納められた掛金、地方公共団体から払い込まれる負担金をこの経理で受け、その全額を全国連合会に納めております。

このため収益と費用は同額となります。

支出合計 187億7,997万円

収入合計 187億7997万円



預託金管理経理

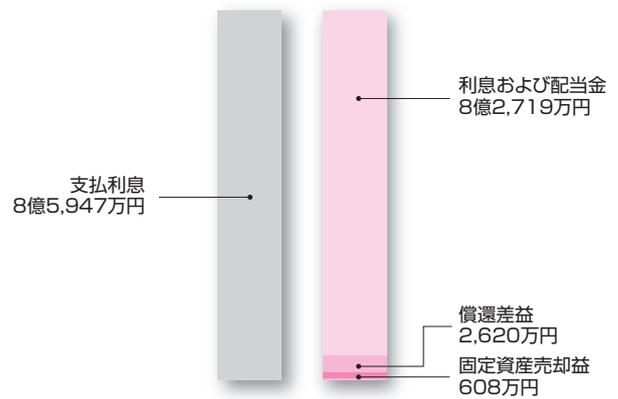
預託金の管理・運用をするための経理です

共済組合の年金給付が全国連合会において二元的に処理されることとされたことにより、年金資産についても全国連合会に集約されその管理運用を行うこととされています。そのような仕組みの中で、各共済組合の申し出によりその資産の部の預託を受け、管理運用することが認められています。そのため、経理がこの預託金管理経理です。

このため収益と費用は同額となります。

支出合計 8億5,947万円

収入合計 8億5,947万円



業務経理

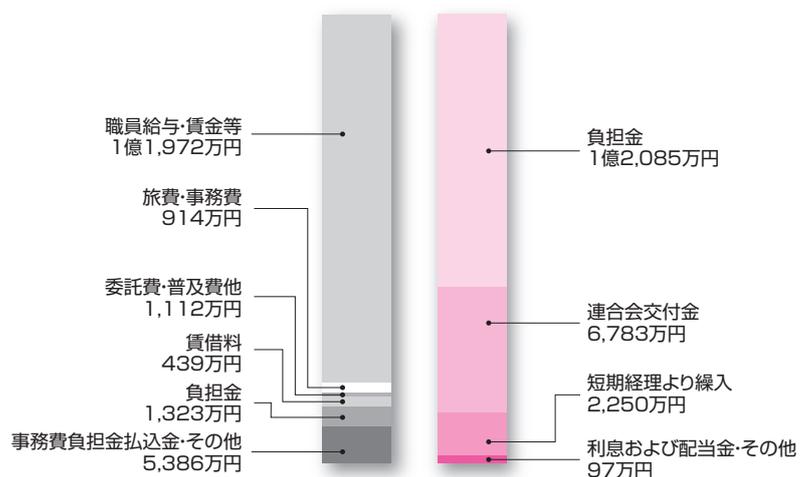
共済組合を運営するための経理です

この経理は、当組合の長期給付事業および短期給付事業に要する人件費や事務費等、また共済組合の総体的な事務経費を賄う経理です。その財源は、地方公共団体からの事務費負担金、短期および全国連合会からの交付金です。今年度は、収益約2億1215万円に対し費用は約2億1146万円、収支差引の結果69万円の利益が生じることとなりました。

このため収益と費用は同額となります。

支出合計 2億1,146万円

収入合計 2億1,215万円



保健経理

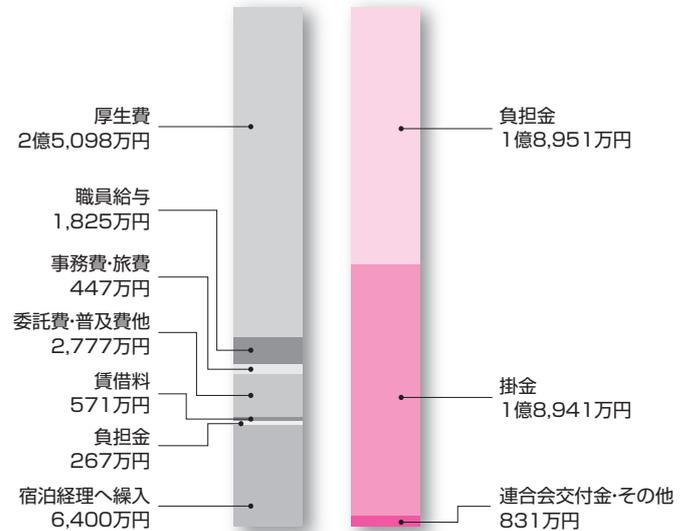
健康診断などの保健事業を実施するための経理です

保健事業(厚生費)の内訳

項目	決算額(万円)	概要
保健関係	成人病検診	3,518 受診者数 5,288人
	大腸検査	244 受診者数 1,196人
	精密検査	903 受診者数 1,139人
	歯科検査	904 受診者数 5,317人
	婦人科健診	1,200 受診者数 2,225人
	人間ドック	14,548 受診者数 7,233人
	電話健康相談	152 相談件数 365件
	メンタルヘルス相談	10 相談件数 9件
	医薬品配布	84 新規組合員へ救急箱セット419人
保養関係	保養施設利用助成(直営)	1,952 7,808人
	保養施設利用助成(その他)	533 2,667人
表彰関係	健康家庭表彰	269 1年表彰 357人 3年表彰 49人
	図書関係	保健関係図書
講座関係	食生活健康講座	6 参加者 23人
	健康づくり教室	239 参加者 61人
	衛生管理者研修会	13 参加者 32人
	ライフプランセミナー	76 参加者 188人
その他	災害見舞金	3 1人
	旅費	23
	諸謝費	10
	事務費・電算処理費用等	141
計	25,097	

支出合計 3億7,385万円

収入合計 3億8,723万円



この経理は、組合員やそのご家族の皆さまの健康管理に役立てていただくため、成人病健診、人間ドック、保健講座、助成事業等を実施しています。収益は組合員の皆さまからの掛金、地方公共団体からの負担金等で、今年度は約3億8,723万円でした。一方、事業等に要した費用は約3億7,385万円です。収支差引の結果約1,338万円の当期利益金が生じました。

この利益金は、施設の改良を見込まなくなったことにより取り崩すこととなった改良積立金と併せ前年度より繰り越した積立金に積み増し、約3億6,000万円を翌年度に繰り越すことといたしました。

宿泊経理

「共済会館やまと」(現行 四季の宿やまと)を運営するための経理です

今年度の収益は約1億9,113万円、一方費用は約2億2,600万円、収支差引の結果約3,487万円の当期損失が生じることとなりました。

今年度は施設経営の健全化を目標とし、宿泊、宴会などの各部門の営業に努めてまいりましたが、利用者数の減少により施設収益は前年度を下回る結果となりました。

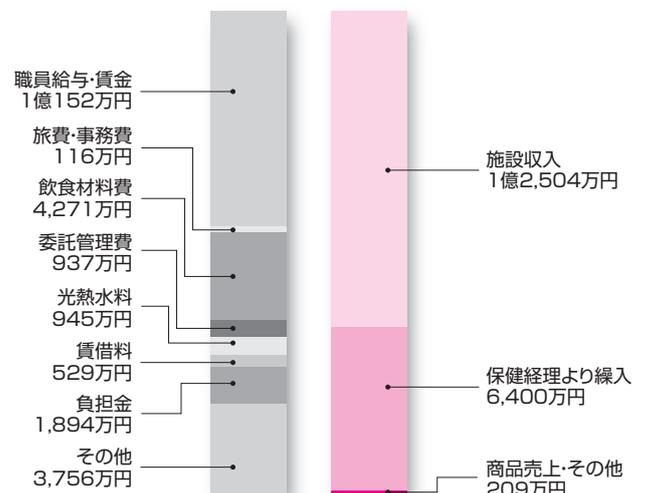
ただ3月期は、平成20年4月からの施設の経営委託への準備期間もあり、各部門の営業体制を縮小せざるを得ませんでした。このことも減収結果の要因の一つとなっています。

発生した損失金につきましては、これまで積み立てていた改良積立金が今後施設の改良を行わないこととされたことにより、全額を取り崩し積立金とすることといたしましたので、その部を取り崩し補てんすることといたしました。

平成20年4月から施設経営を民間企業に委託することとなり、施設の名称も「四季の宿やまと」と改められましたが、組合員やそのご家族の皆さまに「利用いただく共済組合の施設には変わりございませんので、これまでと同様にご利用いただきますようお願い申し上げます。

支出合計 2億2,600万円

収入合計 1億9,113万円



貯金経理

皆さまからお預かりした貯金を運用する経理です

今年度も貯金の支払利率を昨年度と同様に年1.8%とさせていただきます。今年度の収益は約12億7539万円で、前年度より約1億6258万円の減収となりました。

その要因といたしましては、過去に購入した高利回りの債券の償還が行われ、新規で購入する国内債券等の低位であることに加えて、年初からの円高による影響で仕組債の運用益が低下したことにあります。

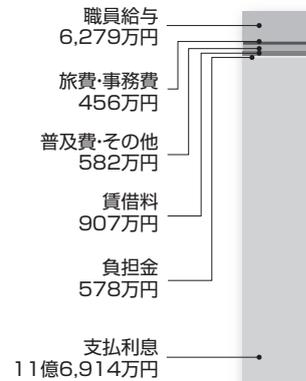
また費用につきましては約12億7539万円で、これまで信託銀行に委託していた業務の電算処理を全国連合会が開発した貯金システムを導入したこと等により前年度に比べ約1480万円削減することが出来ました。

その結果、収支決算では約1823万円の利益金が生じたので、全額を欠損金補てん積立金に積み立て翌年度に繰り越すことといたしました。

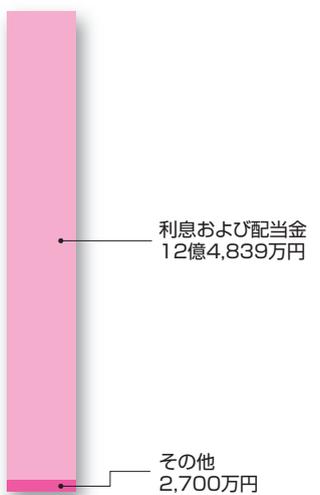
平成19年度貯金の状況

貯金額	656億7,864万円
貯金者数	10,707人
組合員加入率	71.46%
支払利率	年利1.8%

支出合計 12億5,716万円



収入合計 12億7,539万円



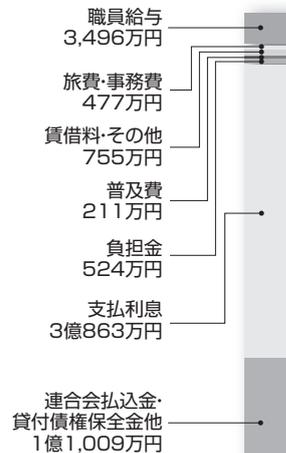
貸付経理

住宅建築等の資金が必要になったときに貸付をする経理です

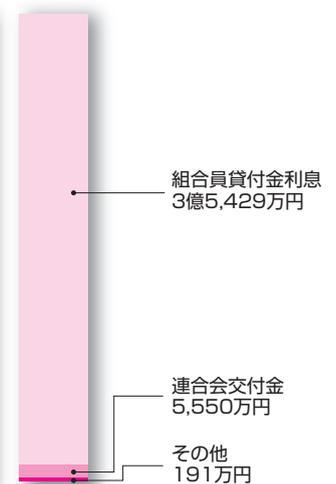
平成19年度末貸付金の状況

種類	件数(件)	金額(万円)	割合(%)	
普通貸付	1,870	116,058	8.13	
住宅貸付	2,840	1,226,639	85.95	
災害貸付	新規	19	7,524	0.53
	再貸付	2	442	0.03
	小計	21	7,966	0.56
在宅介護対応住宅貸付	78	16,040	1.12	
特別貸付	医療	2	81	0.01
	入学	167	7,623	0.53
	修学	447	44,741	3.14
	結婚	85	7,294	0.51
	葬祭	7	562	0.04
	小計	708	60,301	4.23
高額医療貸付	1	35	0.01	
出産貸付	0	0	0.00	
合計	5,518	1,427,039	100.00	

支出合計 4億7,335万円



収入合計 4億1,170万円



組合員の皆さまにご利用いただいております貸付金の総額は、前年度に比べ約20億円減の約142億7039万円、貸付総数は665件減の5518件でした。

このような貸付金額、貸付件数の減少の影響を受け組合員貸付金利息が減収したこと、また新たな不良債権が減少したことによって、連合会交付金が減額となったことなどにより、今年度の収益は昨年度を下回る結果となり、収支決算において約6165万円の不足金が生じることとなりました。

この不足金は、前年度より繰り越した欠損金補てん積立金の一部を取り崩し処分いたしました。

